H-TEC TIMES
HONDA TECHNICAL COLLEGE KANSAI

学校法人ホンダ学園
ホンダ テクニカル カレッジ 関西
（旧校名　ホンダ関西自動車整備専門学校）

発行責任者
校長　六角屋 雷太

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011　FAX:072-360-2230

ホームページ・ケータイ サイト
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/
QRコード対応 ケータイで簡単アクセス!

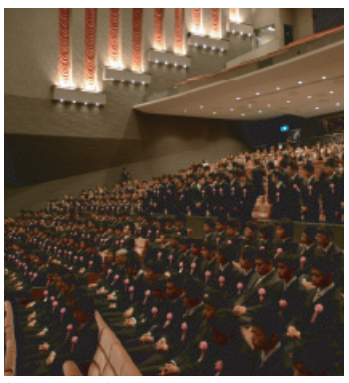
平成18年度
Welcome to Honda Technical College Kansai

祝 入学

入学式式辞

校長　六角屋 雷太

332名の新入学生の皆さん、保護者の皆様ご入学おめでとうございます。関西校は本田宗一郎によって1981年に設立され、ホンダ学園は今年30周年を迎える事が出来ました。又、新たな学科、教育内容に合せ、学校名を変更します。皆さんはこの記念すべき年に入学されたのです。学校の基本方針は、「**人に愛され信頼される技術者の育成を通じ、社会に貢献する。**」です。なるべく早く目標を持ってください。そしてこの学校の設備、環境をフルに活用して同好会等、色んな事にチャレンジして下さい。**達成感を味わう事が出来ればこれに勝る喜びは無い**と思います。（要約）



新たな思いを胸に

入学生数

自動車整備科 **310名**
自動車研究開発科 **22名**

国家試験結果
1級・2級とも100%合格達成!

3月26日に実施された、国家整備士試験の結果が発表されました!

一級自動車整備研究科、自動車整備科、自動車ビジネス科の卒業生全員が合格しました!

皆さん、本当におめでとうございます!!

〈受験結果〉
国家1級小型自動車整備士
登録筆記試験
17名　全員合格

国家2級自動車整備士
登録試験
346名　全員合格

今後は、5月14日に行われる一級小型自動車整備士の口述試験に、全員合格を目指して頑張っていきます!!

自動車研究開発科 ついにスタート!

～ワクワク・ドキドキ・ドラマティック!～

新学科、自動車研究開発科がついにスタート。

自動車研究開発科は自動車工学を学ぶだけではなく実際にフォーミュラーカーを作り、大会に参加するなどモノづくりも行う大変特徴のある学科です。企画→設計→製作→テストの自動車開発一連の流れが身に付いたエンジニアに成長します。胸がワクワクで一杯です。

しかし、その歩く道はまだ誰も通ったことのない道ですから迷って谷に向かったり、散々苦労して歩いた道を戻る決断をしなければならない時も来るでしょう。何を準備しどこを通ればよいかは誰も知りません。鼓動はドキドキです。

道が困難なほど、山頂が高いほど燃えるのが若さです。何度もチャレンジして成功した時の達成感は何事にも替えられない喜びとなります。

さあ、今君がドラマの主人公だ。

弾けるぞ!「オー!!」

大阪狭山市 市長
吉田 友好様

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

私は皆さんに、できるだけ「ありがとう」という言葉を口に出して頂きたいと思います。なぜなら「ありがとう」という言葉は、自分自身が幸せに感じている時に使う言葉だからです。些細なことでも友人や家族に「ありがとう」と言いましょう。**「ありがとう」という言葉を使うことによって、自分自身の幸せが一つずつ増えていきます。幸せが増えると表情が変り、人に好かれる表情になっていきます。だから、できるだけ多くの人に「ありがとう」という言葉を口に出して頂きたいと思います。**（要約）

本田技研工業（株）
常務取締役
吉見 幹雄様

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

この学園で技術や知識を習得するだけでなく、是非、自分の持ち味を発見して頂きたい。そして、誰にも負けない得意技を磨き、たくさんの仲間たちと触れ合って、お互いに切磋琢磨しながら多くの事を学んで頂きたいと思います。

皆さんの手で、HONDAのみならず、日本の将来の自動車産業をさらに発展させて頂きたいと思います。（要約）

Message 指導生からのメッセージ
Message from Instruction students

自動車ビジネス科　2年
吉田 憲史　さやま寮 寮長

～一年間共に頑張りましょう!～

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのほとんどの人が初めての寮生活で、不安に思っていることと思います。しかし、寮での一年間はあっという間に過ぎ、振り返ると楽しい思い出がたくさん残ることでしょう。さて、寮には挨拶や時間などの規則があり、今までの生活とは一転することになります。窮屈に感じる人もいるかもしれませんが、寮生活を円滑に、心地良いものとするための最低限のマナーですので、しっかりルールを守りましょう。最後に、勉強だけでなく、趣味や夢を見つけて有意義な学園生活を送って下さい。一年間共に頑張りましょう。

自動車整備科　2年3組
神谷 弘晃　くみの木寮 寮長

～仲間と過ごすひと時は格別です～

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入寮してルールに縛られて嫌だな、と思う人もいるかもしれませんが、他の人に迷惑をかけないように心がけて暮らせば守れるものばかりです。それでも何か意見があれば、どんどん指導生にぶつけて下さい。舎監さんや指導生と一緒に解決していきましょう。でも寮生活は楽しい事がたくさんあります。同じクラス、同好会、趣味、志を持つ仲間と過ごすひと時は格別です。また、色んな楽しい行事も予定していますので、楽しんで寮生活を送っていただきたいと思います。

新入生からの抱負
Ambition from New students

自動車整備科
1年1組
朝見 直人

～メリハリをつけ有意義に過ごす～

入学する前は、寮生活がとても不安でした。しかし寮に入ってみると、すぐに友達ができました。また、入った日は、分からない事だらけでしたが、指導生の先輩方が、分からない事を一つ一つ優しく丁寧に教えてくれ、僕の不安はなくなりました。

学園生活では、1日1日の授業を初めから終わりまでしっかり聞き、おろそかにしないで一生懸命取り組み、資格をたくさん取得したいと思います。また、規則を破らないように心がけていきたいです。

最後に僕は、楽しく過ごすときは楽しく、集中するところでは集中して、皆と一緒にそれぞれの夢を実現していき、学園生活、寮生活共に有意義なものにしていきたいと思います。

自動車研究開発科
1年
主税 博之

～「成せばなんとかなる!」で挑む～

私は、高校を卒業してすぐに就職し働き始めましたが、今年の3月退職し、ホンダ テクニカル カレッジ 関西に入学しました。

私は、新設された自動車研究開発科という学科で学んでいきます。これからどういう授業をしていき、どういうこと学んでいくのか全く分かりません。先輩方に聞いても全く知らないらしく、正直ものすごく不安です。ただ、一つわかっていることは、3年後にFormula SAEという大会に出て、私達の3年間の集大成を発揮し、結果を残すことです。最終目標ははっきりとしているので、「成せばなんとかなる!」と思って一生懸命頑張っていきます。

新任のあいさつ

自動車整備科
田伏 秀幸

2月1日付けでホンダ学園に赴任しました田伏秀幸です。ホンダに入社したのも皆様と同様バイク・クルマに興味があり、「仕事と趣味が両立できたらいいなぁ」と思いホンダを選びました。

サービス、営業と経験してきましたので授業では実践に近いことをお教えできると思います。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

自動車整備科
坂田 真

4月より(株)ホンダクリオ近畿より着任しました坂田真です。関西校を16年前に卒業。四輪販売店に入社後、サービスエンジニア、フロント、工場長を経て社会人講師として戻って来ました。1つでも多く経験してきた事を伝えていきます。

自動車整備科
進藤 祐司

4月より着任しました進藤祐司です。整備歴は約30年余りになります。数々の整備工場を経験して参りました。この経験をお伝えし、これからの皆様の将来の参考にしていただければと思います。宜しくお願い致します。

学園祭売上金募金
～18万1912円を寄付～

2月4日、学園祭実行委員の代表として学園祭の売上金を寄付するため、財団法人ユニセフ協会 大阪支部を訪問してきました。12月に行われた学園祭の模擬店によって得られた売上金とフリーマーケット開催者からの寄付金、合わせて18万1912円を寄付することができました。

学園祭を盛り上げてくれた学生の皆さんのおかげで、少しでも世界の困った方々へ還元できたことを大変嬉しく思います。これを機に「1日1善」を実行できればいいと思います。

（学園祭実行委員長　関本香織）

平成17年度 Go for your dream

祝 卒業

卒業式式辞

校長 六角屋 雷太

卒業生の皆さん、又保護者の皆様方ご卒業おめでとうございます。この学園で人生の夢実現に向け一つの関門を突破したその努力と情熱に賛辞を送りたいと思います。**就職する皆さんは入社が目標のゴールではなく、社会に出る準備体操**のようなものなのです。2つお話したいと思います。**一つめは社会に出て働く上での心構えです。聞くは一時の恥、知らぬは一生の恥といいます。チャレンジを続けて下さい。二つめは世の中の変化に関心を持ち発想豊かに対応策を考え、人より先に感受性豊かにアンテナをはり変化を捉えて下さい。**ホンダ学園は校名が変わり大きく飛躍しますが、母校である事には変わりありません。ずっと見守って頂きたいと思います。皆さん、この大きな節目にあたり新たに挑戦しながらも保護者の方をはじめ周りの方々に感謝の念と謙虚な気持ちを忘れないで下さい。

総数 363名
- 自動車整備科第24期生 296名
- 自動車ビジネス科第6期生 50名
- 1級自動車整備研究科 17名

表彰者紹介

大阪府知事賞
自動車ビジネス科 2年1組 中岡 隆敬

全国自動車整備専門学校協会会長賞
1級自動車整備研究科 2年1組 藤林 大介
自動車整備科 2年3組 平野 慎一

社団法人 日本自動車整備振興会 連合会 会長賞
自動車整備科 2年4組 林 志郎

ホンダ学園賛助会 会長賞
自動車整備科 2年5組 苗田 剛志

社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会 名誉会長賞
自動車整備科 2年2組 井門 健司
自動車整備科 2年2組 藤原 孝史
自動車ビジネス科 2年1組 上田 陽平
自動車ビジネス科 2年1組 篠原 和也

財団法人 専修学校教育振興会 理事長賞
自動車整備科 2年1組 高間 健
自動車整備科 2年2組 山﨑 謙次
自動車整備科 2年3組 青山 昌平
自動車整備科 2年4組 有江 勝哉
自動車整備科 2年4組 三鼓 章人
自動車整備科 2年6組 前山 祐機
自動車ビジネス科 2年1組 副島 浩

努力賞
クラスの各役員として活躍した学生
自動車整備科 2年1組 沖 将裕
自動車整備科 2年3組 関本 香織
自動車整備科 2年4組 高岡 謙二
自動車整備科 2年4組 渡邊 拓也

同好会で活躍した学生
自動車整備科 2年2組 寄能 恵太
自動車整備科 2年3組 松井 英幸
自動車整備科 2年5組 升森 健太
自動車整備科 2年6組 川西 智
自動車整備科 2年6組 山本 幸徳
自動車ビジネス科 2年1組 久保 喜胤
自動車ビジネス科 2年1組 芝元 陽一
自動車ビジネス科 2年1組 野田 拓史

個人として大変な努力をした学生
自動車整備科 2年1組 小竹 信真
自動車ビジネス科 2年1組 土屋 貴仁

卒業祝賀パーティー

卒業式風景

大阪狭山市教育委員会事務局教育部理事 山本章様

ご卒業おめでとうございます。ご入学されて恵まれた教育環境の元で学び、地域のボランティア活動にも積極的に取組まれる等、本市市民との交流を通じ人間的にも大きな成長を遂げられました。これからは未来を担う自動車エンジニアとして大成される事を心より期待致しております。（要約）

Message 卒業生からのメッセージ
Message from graduate

～一冊の辞書よりも厚く～

一級自動車整備研究科 卒業 藤林 大介

はじめに、お世話になった先生方、いつも親身になってご指導いただきありがとうございました。これから社会に出るにあたって、私の技術はまだまだ未熟で、今出来ることは少ないですが、常にチャレンジ精神を持ち、失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦していきたいです。何事にも「完璧」でないからこそ、より良いものを目指して努力することができるのだと思います。私がH-TECで学んだこと、経験したことは一冊の辞書よりも厚くて充実した内容であったと思います。この学園で学んだことを、最大限に生かし、日々努力していきます。

～失敗してもいい。積極的に～

自動車整備科 卒業 三鼓 章人

私は指導生という立場で2年目を送りました。後輩を指導する難しさ、指導生の仕事を次の指導生に引継ぐ難しさを経験しました。同級生や指導生仲間に助けられながら乗り越えましたが、この様な経験をさせて下さった舎監さん、先生方、そして後輩達に感謝しています。これはきっと就職して2年目以降に役立つと思います。

皆さんも、将来役立つ経験を積むため、失敗してもいいと思うので、いろんな場に積極的に参加してみて下さい。高卒の人より2年も多く勉強できるので、勉強以外の事を何か身に付けて卒業するのもいいと思います。それでは皆さんしっかりと思い出を作って下さい。

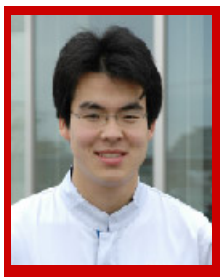
～いつの日か素晴らしい技術屋に～

自動車ビジネス科 卒業 篠原 和也

2年生になってからの1年間はあっという間でした。でも、後悔はありません。自分のやりたい事、やるべき事を行い、偽りなく正直に過ごしてきたからだと思います。ですから、今後学園で日々を過ごす方々にも自分の意思をしっかり持ち、躊躇せず何事にもチャレンジして欲しいと思います。

これから新しい一歩を踏み出すのですが、うまくいかない時は立ち止まる事もあるでしょう。ですがそこで諦めずにしっかり反省して、一歩一歩自分の夢に向かって進んでいきたいと考えています。いつの日か素晴らしい技術屋になっていたいと思います。最後になりましたが、2年間お世話になった先生方ご指導頂きありがとうございました。

New Zealand ～ニュージーランド研修を振り返って～



自動車整備科 2年4組 佐々木 祐次

ニュージーランドの研修を振り返って、僕が今感じる研修の意義とは、異国文化を自らの肌で感じ、自分の夢や目標を新たに見つめ直す事だと思います。僕は、研修を通じて様々な経験をし、色んな人に出会い、時には励まされ、時には叱られ、そういった環境の中で僕は僕自身なりに、夢や目標を見つめ直す事が出来たように思います。

自分を磨き直すことも出来、マイナス思考だったのが、プラス思考になったのも、今回の研修がきっかけだったと思います。

学園に入った時から新しい事をたくさん経験しましたが、この研修は今までの中で、一番充実した経験ではないかと思います。

今現在、自分のしたいこと、夢や目標がはっきりとしていない人は、早くに見つけて、それらを実現出来るように、頑張ってください。努力すれば結果が付いてきます。

ニュージーランドへ向けて ～より多くの人とコミュニケーションしたい～

自動車整備科 2年5組 坂田 徹

今回ニュージーランド研修に参加できて、大変うれしく思っています。ニュージーランドでは、整備の勉強はもちろん、英会話や異文化のコミュニケーションに積極的に取り組んでいきたいです。今は英語をほとんど話すことができないのですが、より多くの人とコミュニケーションをとるために、頑張って勉強していきたいです。ニュージーランドで体験できる、今までやったことのないことに色々と挑戦していきたいです。

～やったるしかない！～

自動車整備科 2年6組 末松 航

正直、前日になって少々の不安を感じました。しかし、友人や先輩に勇気づけてもらい、ポジティブな気持ちで朝を迎え、家族からいかに応援、そして期待をしてもらっているか再確認し、「やったるしかない！」という気持ちを強くもって出国することができました。こんな素晴らしい機会を与えてくださった学園、応援や期待していただいている方々の気持ちを無駄にしないため、そして何より自分自身のためにすべての事に全力で挑戦し、自分を磨いていきます。

二輪整備同好会活動

～憧れの8耐！努力と情熱で戦い抜く！～

自動車整備科 2年5組 橋本 恵太

私は鈴鹿8耐に憧れてH・TECに入学しました。昨年度から2006年度の鈴鹿8耐に参戦するために、同好会のメンバーで同じ目標を持って活動をしてきました。同じ目標を持って活動していくにつれ、チームワークも良くなり技術も向上していきました。今年の4月からは活動も本格化し、出場車両のセットアップやピット作業の練習を始めています。日々の活動は忙しく、辛くなることもありますが、仲間で助け合って乗り越えていきたいと思います。私達はまだまだ未熟ですが、精一杯の努力と情熱で今年の鈴鹿8耐を戦っていきます。応援よろしくお願いします。

8耐へ向けての練習

～本番で活きる深いチームワーク作り～

自動車整備科 2年5組 岩倉 聡

私達二輪整備同好会レーシングのメンバー7人は、顧問の先生の教えの下で毎日放課後と休日「鈴鹿8耐出場」「クラス優勝」という大きな夢や目標に向かって活動しています。

活動の内容はレースレギュレーションの勉強や整備作業を項目ごとに分けたカリキュラムの進行など、実践で使える技術を身につけるため、日々練習しています。又、週に一度は全員で集まり今後の方針や連絡事項について話し合っています。チームワークを深め、本番で活かせるよう努力しています。

チーム一丸となり8耐に向けて頑張っていきますので応援よろしくお願いいたします。

二輪整備同好会活動風景

これからのスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月
●入学式（7日） ●オリエンテーション（10日） ●始業式／2年生（11日） ●5月連休（29日～） ◆2輪整備同好会・鈴鹿2&4レース	●5月連休終了（8日） ●販社訪問／1年生 ●市内清掃	●保護者見学会（17日） ◆2輪整備同好会・鈴鹿300km耐久レース	●技術コンクール（21日） ●夏休み（29日～） ◆2輪整備同好会・鈴鹿8時間耐久レース（29～31日）	●夏休み終了（20日）

退任のあいさつ

自動車整備科 藤原 明

2年間と短い期間でしたが、私にとって初めての職種。教える事や伝える事の難しさと楽しさを実感しました。また学生の皆さんが日に日に整備士らしくなっていくのを見ていると嬉しくもあり、私も初心に戻って頑張らねばと言う気持ちで、こちらもパワーを貰った様な気がします。学生の皆さん、職員の皆さん大変お世話になりました。

転任のあいさつ

事務学生部 和田 耕一

13年もの長い間、関西校にお世話になりありがとうございました。私なりに募集活動を通して数多くの方々と出会えたこと、H・TECの魅力を知っていただけたことに喜びと感謝の気持ちで一杯です。新1年生や在校生の皆さん！H・TECに入学したことを誇りとし、無限の可能性を信じ、目標に向かい行動して行ってください。

教務部 上野 博美

2001年2月より5年間関西校において自動車ビジネス科の担任、シャシ単元教員、学校行事の企画運営に携わりました。「先生の説明を聞いてようやく解かりました」と学生から言われた時は、自分も人の役にたったのだと感激しました。解りやすい授業をモットーに人生の先輩という立場で学生の皆様と接してまいりました。新しい職場においても「お客様」の為に頑張ります。

自動車整備科 別所 和彦

2年間という短い間でしたが、学生の皆さんとは充実した時間を過ごせたと思います。2年生のエンジン単元の授業や1級の国家試験対策に参加させて頂いたおかげで多くの事を勉強でき、とても感謝しています。これらの経験をホンダクリオ近畿に戻っても生かして頑張りたいと思います。学生の皆さん、夢叶うまで頑張って下さい。有難うございました。

自動車整備科 辻 博次

2年間の短い期間でしたが学生達と触れ合えたことは、凄く楽しいものでした。自分自身がこの学園の卒業生でもあり、学生であった頃の事が現実とオーバーラップして少し若さを取り戻したように錯覚していました。4月から販売店に戻りますが、この学園での2年間は、大切な思い出として決して忘れません。本当にありがとうございました。

自動車整備科 大黒 敦史

4月より本田技研工業（株）カスタマーサービス部に異動致します。学園には2003年10月に赴任し、以来1年半を経験させて頂きました。

学生の皆さんと共に学んだ教員生活は、私の大変貴重な財産です。皆さんとは、これからも同じ自動車業界を担う同志に変わりありません。共に夢に向かってチャレンジし続けましょう。

編集後記

2006年4月1日より学校名が、「ホンダテクニカル カレッジ 関西」となりました！

それに伴い「HATS TIMES」も「H・TEC TIMES」へと変わりました。H・TEC TIMESやホームページを通して、今まで以上に学生達の生き生きとした姿をお伝えしていきたいと思います！

H・TEC TIMES編集担当